



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 1994 URL <https://www.t-cw.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高橋 武治
問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員管理部長（氏名） 市川 尚 TEL 03-3271-1711
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 2026年9月4日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	4,208	22.0	586	—	666	—	438	—
2025年12月期中間期	3,448	△28.0	△95	—	△59	—	△64	—

（注）包括利益 2026年12月期中間期 430百万円（ —％） 2025年12月期中間期 △54百万円（ —％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	55.36	—
2025年12月期中間期	△8.08	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	12,835	11,147	86.9
2025年12月期	12,628	10,796	85.5

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 11,147百万円 2025年12月期 10,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年12月期	—	11.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当1円00銭（創業75周年記念配当）

2026年12月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当1円00銭（創業75周年記念配当）

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	8,150	11.1	730	547.8	830	344.6	550	188.7

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期中間期	9,553,011株	2025年12月期	9,553,011株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	1,629,264株	2025年12月期	1,629,264株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年12月期中間期	7,923,747株	2025年12月期中間期	8,019,719株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本経済は、政府の物価高対策や春闘での高水準な賃上げにより実質賃金がプラス基調に維持され、個人消費が下支えとなり、総じて堅調に推移しました。一方、米国の関税政策や中東情勢の緊迫化に伴う原油高などの外部リスクによる輸出・生産への影響が顕在化しています。内需の自律的回復の兆しが見える一方で、不透明な世界情勢によるコストプッシュ圧力が景気の上振れを阻む状況が続いています。

このような状況の下、当建設業界におきましては、ゼネコン及びその協力会社である当社は資材高、人手不足によるコストアップを反映した見積もりを出さざるを得ず、延期もしくは見直しされる開発案件が続出しています。そうした中、当社はきめ細かい営業で、多種多様かつ多くの地域の案件を受注し、工場の稼働率を維持しました。

プールを手掛けるアクア事業では、引き続き主力である学校プール新設に加え、老朽化したプール施設のリニューアル工事等の拡大を図っております。インバウンド復活でホテルのプールが増加傾向にあります。

この結果、当中間連結会計期間における当社企業グループの業績は売上高42億8百万円(前中間連結会計期間比22.0%増)、営業利益5億86百万円(前中間連結会計期間は95百万円の営業損失)、経常利益6億66百万円(前中間連結会計期間は59百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益4億38百万円(前中間連結会計期間は64百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。なお、受注高は53億81百万円(前中間連結会計期間比36.0%増)、受注残高は100億61百万円(前連結会計年度比13.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①PCカーテンウォール事業

当セグメントの売上高は36億5百万円(前中間連結会計期間比24.2%増)、セグメント利益は5億34百万円(前中間連結会計期間は1億44百万円のセグメント損失)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

②アクア事業

当セグメントの売上高は5億71百万円(前中間連結会計期間比11.0%増)、セグメント利益は52百万円(前中間連結会計期間比6.8%増)となりました。

③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

当セグメントの売上高は31百万円(前中間連結会計期間比0.1%減)、セグメント損失は0百万円(前中間連結会計期間は0百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は128億35百万円と前連結会計年度末と比較して2億2百万円の増加となりました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が8億19百万円及び有価証券が9億98百万円増加し、現金預金が10億59百万円及び電子記録債権が4億56百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当中間連結会計期間末における負債合計は16億87百万円と前連結会計年度末と比較して1億48百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が1億82百万円増加し、短期借入金が2億70百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当中間連結会計期間末における純資産合計は111億47百万円と前連結会計年度末と比較して3億51百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が3億59百万円増加したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前中間連結会計期間と比較して5億3百万円増加して20億90百万円(前中間連結会計期間比31.8%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に、税金等調整前中間純利益6億66百万円、減価償却費1億26百万円及び売上債権の増加額3億62百万円により4億34百万円の資金増加(前中間連結会計期間は16億13百万円の資金増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の取得による支出90百万円により90百万円の資金減少(前中間連結会計期間は82百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に短期借入金の減少額2億円、長期借入金の返済による支出1億24百万円及び配当金の支払額79百万円により4億4百万円の資金減少(前中間連結会計期間は9億72百万円の資金減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月31日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,150,355	1,091,137
受取手形・完成工事未収入金等	3,888,899	4,708,024
電子記録債権	779,783	322,971
有価証券	—	998,899
未成工事支出金	250,697	270,266
その他の棚卸資産	95,978	131,351
その他	91,508	84,615
流動資産合計	7,257,223	7,607,265
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	464,359	445,813
土地	1,997,499	1,997,499
その他(純額)	510,689	496,381
有形固定資産合計	2,972,549	2,939,695
無形固定資産	56,533	49,528
投資その他の資産		
投資有価証券	290,389	277,577
保険積立金	1,127,203	1,012,561
投資不動産(純額)	27,483	27,457
退職給付に係る資産	203,643	221,428
差入保証金	639,922	643,464
その他	63,799	62,173
貸倒引当金	△5,327	△5,327
投資その他の資産合計	2,347,114	2,239,335
固定資産合計	5,376,197	5,228,560
資産合計	12,633,420	12,835,826
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	540,201	525,105
電子記録債務	102,780	113,715
短期借入金	448,000	178,000
未払法人税等	36,890	219,853
未成工事受入金	36,379	15,361
賞与引当金	54,304	52,728
その他の引当金	74,980	29,940
その他	152,208	206,340
流動負債合計	1,445,744	1,341,043
固定負債		
長期借入金	78,000	24,000
役員退職慰労引当金	187,675	195,487
退職給付に係る負債	4,714	5,183
その他	120,452	122,138
固定負債合計	390,842	346,809
負債合計	1,836,587	1,687,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	8,001,272	8,360,685
自己株式	△666,317	△666,317
株主資本合計	10,718,318	11,077,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,514	70,242
その他の包括利益累計額合計	78,514	70,242
純資産合計	10,796,833	11,147,973
負債純資産合計	12,633,420	12,835,826

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2026年 1 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高		
完成工事高	3,448,057	4,208,139
売上原価		
完成工事原価	3,045,470	3,096,708
売上総利益		
完成工事総利益	402,587	1,111,431
販売費及び一般管理費	498,155	524,850
営業利益又は営業損失(△)	△95,568	586,580
営業外収益		
受取利息	197	4,227
受取配当金	1,172	1,928
投資不動産賃貸料	998	1,126
受取家賃	4,817	4,383
鉄屑売却収入	23,352	18,941
保険返戻金	3,075	43,318
その他	6,841	8,072
営業外収益合計	40,453	81,997
営業外費用		
支払利息	3,205	1,098
不動産賃貸費用	462	390
貸倒引当金繰入額	190	—
その他	565	712
営業外費用合計	4,423	2,201
経常利益又は経常損失(△)	△59,538	666,376
特別利益		
固定資産売却益	179	5
特別利益合計	179	5
特別損失		
固定資産除却損	392	106
特別損失合計	392	106
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△59,751	666,275
法人税、住民税及び事業税	3,743	220,251
法人税等調整額	1,303	7,373
法人税等合計	5,047	227,624
中間純利益又は中間純損失(△)	△64,798	438,650
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△64,798	438,650

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益又は中間純損失（△）	△64,798	438,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,311	△8,272
その他の包括利益合計	10,311	△8,272
中間包括利益	△54,486	430,377
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△54,486	430,377

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△59,751	666,275
減価償却費	137,318	126,838
貸倒引当金の増減額(△は減少)	190	—
固定資産除却損	253	65
固定資産売却損益(△は益)	△179	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,767	7,812
引当金の増減額(△は減少)	54,345	△46,147
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	318	△17,785
受取利息及び受取配当金	△1,369	△6,155
支払利息	3,205	1,098
売上債権の増減額(△は増加)	2,287,738	△362,312
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△220,858	△19,568
その他の棚卸資産の増減額(△は増加)	5,851	△35,372
保険積立金の増減額(△は増加)	△1,414	114,642
その他の資産の増減額(△は増加)	△58,479	2,437
仕入債務の増減額(△は減少)	△252,874	△4,161
未成工事受入金の増減額(△は減少)	8,809	△21,018
その他の負債の増減額(△は減少)	△118,611	59,973
小計	1,793,258	466,614
利息及び配当金の受取額	1,515	6,293
利息の支払額	△3,062	△1,155
法人税等の支払額	△178,592	△37,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,613,118	434,465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77,913	△90,521
有形固定資産の売却による収入	180	5
無形固定資産の取得による支出	△4,275	△2,330
貸付けによる支出	△5,600	△1,200
貸付金の回収による収入	4,675	3,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,933	△90,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△755,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△124,000	△124,000
建設協力金の返済による支出	△1,260	△1,260
自己株式の取得による支出	△12,140	—
配当金の支払額	△80,309	△79,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	△972,709	△404,337
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	557,475	△60,318
現金及び現金同等物の期首残高	1,028,871	2,150,355
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,586,347	2,090,036

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,902,301	514,599	3,416,900	31,157	3,448,057	3,448,057
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,902,301	514,599	3,416,900	31,157	3,448,057	3,448,057
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△144,439	49,392	△95,046	△521	△95,568	△95,568

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,605,704	571,303	4,177,008	31,130	4,208,139	4,208,139
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,605,704	571,303	4,177,008	31,130	4,208,139	4,208,139
セグメント利益又はセグメント損失(△)	534,735	52,766	587,501	△921	586,580	586,580

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。